

糸魚川市の観光の状況について (平成 29 年度版)



(糸魚川シーフードシャトルバス参加者の様子)

糸魚川市商工観光課

平成 30 年 6 月

目次

◆ 調査概要

1	調査の期間	1
2	調査方法	1
3	調査地点	1

I 平成 29 年度の糸魚川市の観光の現状

1	平成 29 年度の観光客の入込状況(概況)	2
2	平成 29 年度の月別・目的別観光入込客数	2
	(1) 月別観光入込客数	
	(2) 目的別観光入込客数	
3	平成 29 年度の目的別観光入込客数の前年度比較	4
	(1) 温泉施設	
	(2) 自然景観	
	(3) 名所・旧跡	
	(4) 文化施設	
	(5) 産業観光	
	(6) 祭・イベント	
	(7) 海水浴	
	(8) スキー場	
	(9) 登山・ハイキング・キャンプ場	
	(10) その他(ゴルフ場・釣り・プール等)	

II 平成 29 年度の宿泊者の入込状況

1	平成 29 年度の宿泊者の入込状況(概況)	9
2	平成 29 年度の月別・割合別宿泊者数	9
	(1) 月別宿泊者数の前年度比較	
	(2) 方面別温泉宿泊施設入込客数	
3	外国人宿泊者数	11

III 過去の入込客統計調査との比較

1	観光入込客数の推移	12
2	目的別観光入込客数の推移と県入込客数との比較	12
	(1) 温泉施設	
	(2) 海水浴	
	(3) スキー場	
3	宿泊者数の推移と県入込客数との比較	14
4	外国人宿泊者数の推移と県入込客数の比較	14

IV 経済効果

1	観光庁 旅行・観光消費動向調査における経済効果	15
2	糸魚川ジオパーク観光動態調査における経済効果	16

V 平成 29 年度に講じた施策

1	誘客宣伝活動の促進	17
2	受入態勢の充実	19

◆ 調査概要

本調査は、観光庁が定めた「観光入込客統計に関する共通基準」(平成 21 年 12 月観光庁策定)に準拠し、観光入込客数などを推計等したものである。

1 調査の期間

平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで

※ 比較のため、平成 28 年度の観光入込統計結果を引用した。

2 調査方法

(1) 観光入込客統計調査

四半期ごとに、市内の観光地点の管理者、祭行事・イベントの主催者等に対して入込客数を調査し、集計した。

(2) 宿泊客数調査

1 年ごとに、市内の宿泊施設に対して県内から来訪者した宿泊者と県外から来訪した宿泊者を分けて宿泊客数を調査し、集計した。

(3) 海水浴客入込客数調査

海水浴場開設期間中に 10 日ごとに入込客数を調査し、集計した。

3 調査地点

観光入込客調査地点は以下の 115 箇所である。

対象	主な施設名称	対象箇所
温泉	柵口温泉、姫川温泉等	14
自然景観	高浪の池、小滝川ヒスイ峡等	9
名所・旧跡	翡翠園、相馬御風宅、親不知レンガトンネル等	7
文化施設	ジオパル、フォッサマグナミュージアム等	9
産業施設	マリンドリーム能生、ヒスイ王国館等	7
祭・イベント	おまんた祭り、荒波あんこう祭り等	41
海水浴	能生海水浴場、糸魚川海水浴場、親不知海水浴場等	6
スキー場	シーサイドバレースキー場、シャルマン火打スキー場	2
登山・ハイキング・キャンプ場	雨飾山登山、荒崎キャンプ場等	14
その他	糸魚川カントリークラブ、溪流釣り等	6

I 平成 29 年度の糸魚川市の観光の現状

1 平成 29 年度の観光客の入込状況(概況)

- 平成 29 年度は夏季週末の天候不順や大雪の影響により、前年比で 94.5%となった。
- 新幹線開業効果が一巡した影響もあり、入込減となった。

平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日

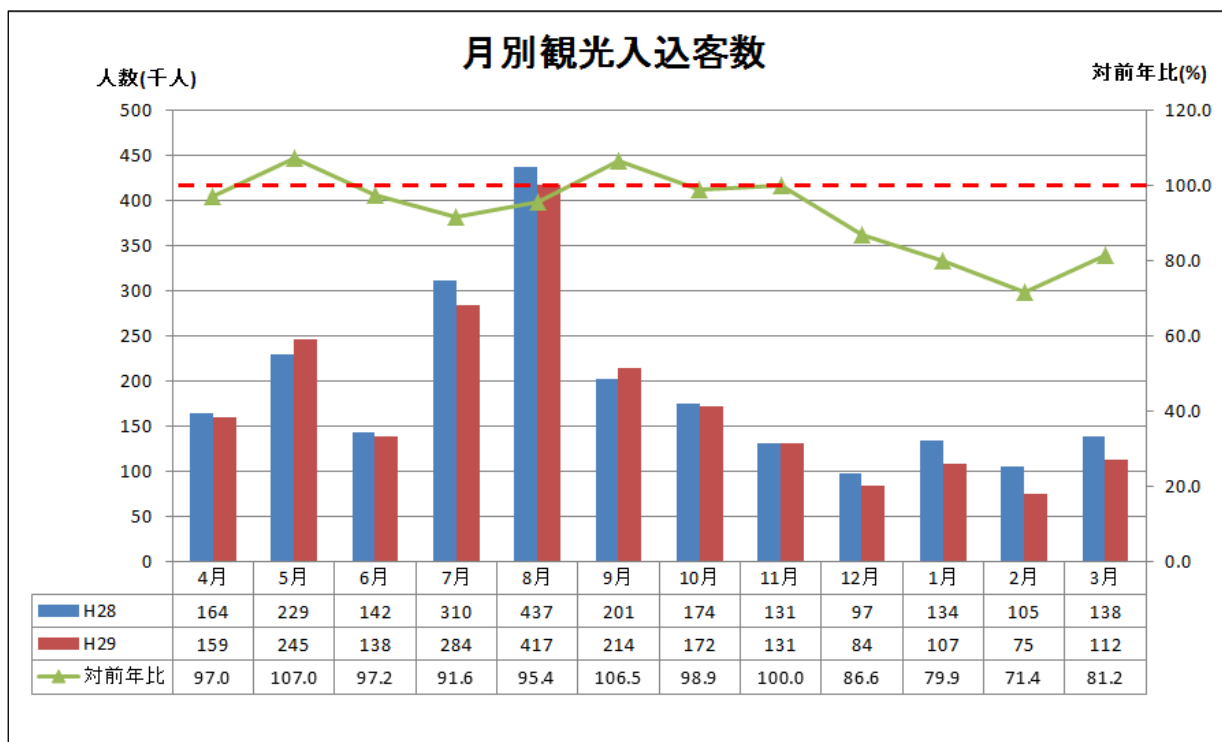
総数 2,137,690 人 (対前年比 94.5%、125,180 人減)

※ 平成 28 年度総数 2,262,870 人

2 平成 29 年度の月別・目的別観光入込客数

(1) 月別観光入込客数

- 前年同様、8 月が月別で最大の入込客数を記録しているが、天候不順（特に土日）により前年を下回った。
- 5 月、9 月はフォッサマグナパークや翡翠園等の名所・旧跡の入込が前年比で増加した。
- 冬季は大雪の影響のほか、前年度の糸魚川駅北大火の入込増が落ちついたと考えられる。



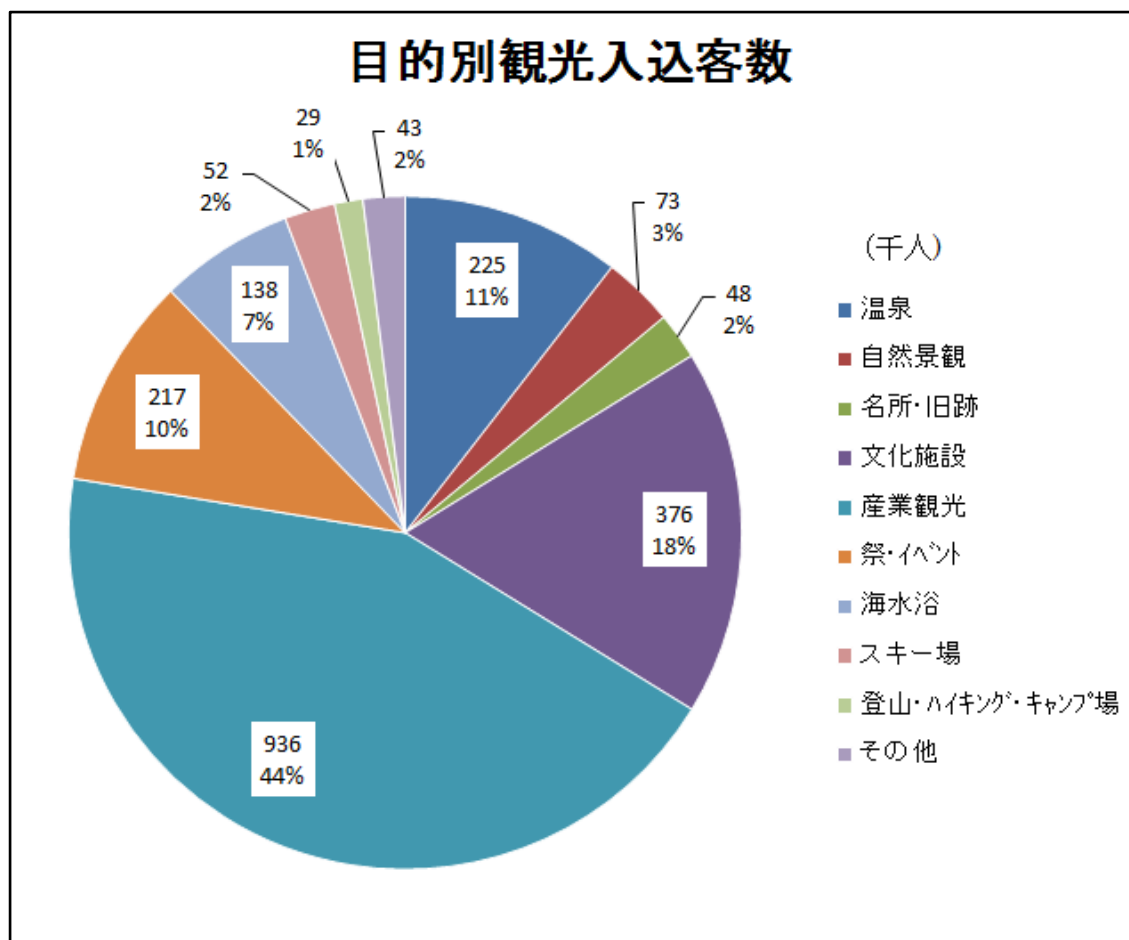
(2) 目的別観光入込客数

- 産業観光が全体の43.8%を占めており、次いで文化施設、温泉施設の順となっている。
- 道の駅の入込減により、産業観光が前年比で92.9%となった。
- 大糸線周年事業や復興関連イベントの開催に伴い、祭・イベントの入込が増加した。

(千人)

対象	H29	H28	前年差	対前年比	構成比	地点数
温泉施設	225	236	△ 11	95.3%	10.5%	14 点
自然景観	73	81	△ 8	90.1%	3.4%	9 点
名所・旧跡	48	44	4	109.1%	2.2%	7 点
文化施設	376	409	△ 33	91.9%	17.6%	9 点
産業観光	936	1,007	△ 71	92.9%	43.8%	7 点
祭・イベント	217	200	17	108.5%	10.2%	41 点
海水浴	138	155	△ 17	89.0%	6.5%	6 点
スキー場	52	59	△ 7	88.1%	2.4%	2 点
登山・ハイキング・キャンプ場	29	25	4	116.0%	1.4%	14 点
その他	43	48	△ 5	89.6%	2.0%	6 点
合計	2,138	2,264	△126	94.4%	100.0%	115 点

※四捨五入したため、合計の数字と内訳の計が一致しない場合があります。



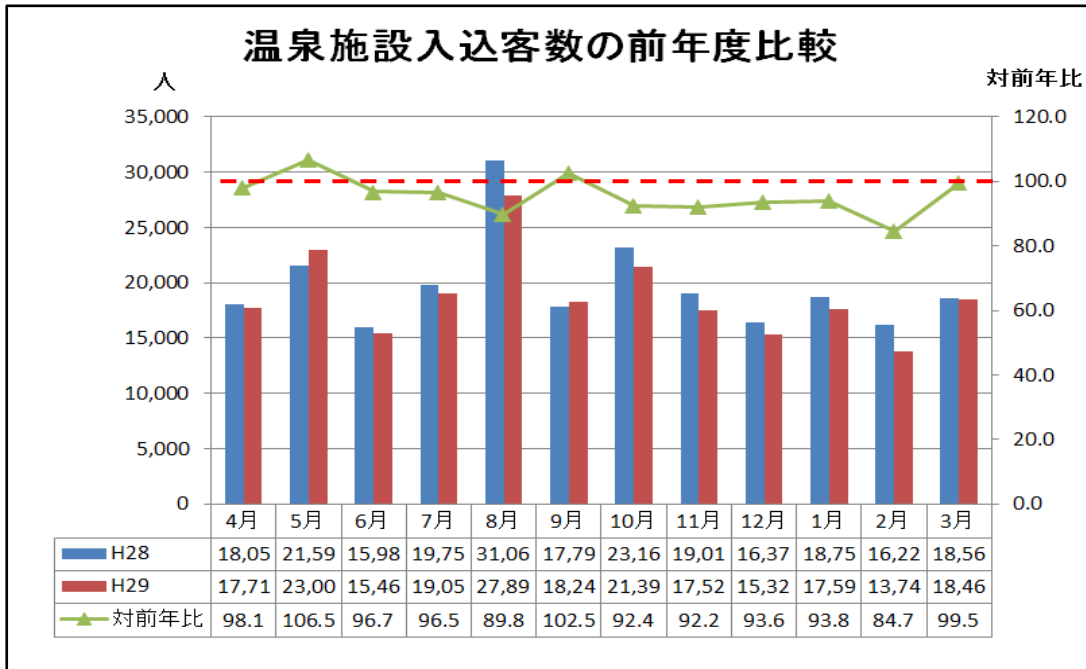
3 平成 29 年度の目的別観光入込客数の前年度比較

(1) 温泉施設

◇ 平成 29 年度 225,370 人（平成 28 年度 236,290 人）前年比 95.4%

○ 5 月と 9 月で前年を上回ったほかは減少傾向にあり、特に 2 月は前年比 84.7%となった。

○ 前年同様 8 月の入込客数が年間を通じて最も多いが、前年比 89.8%となった。

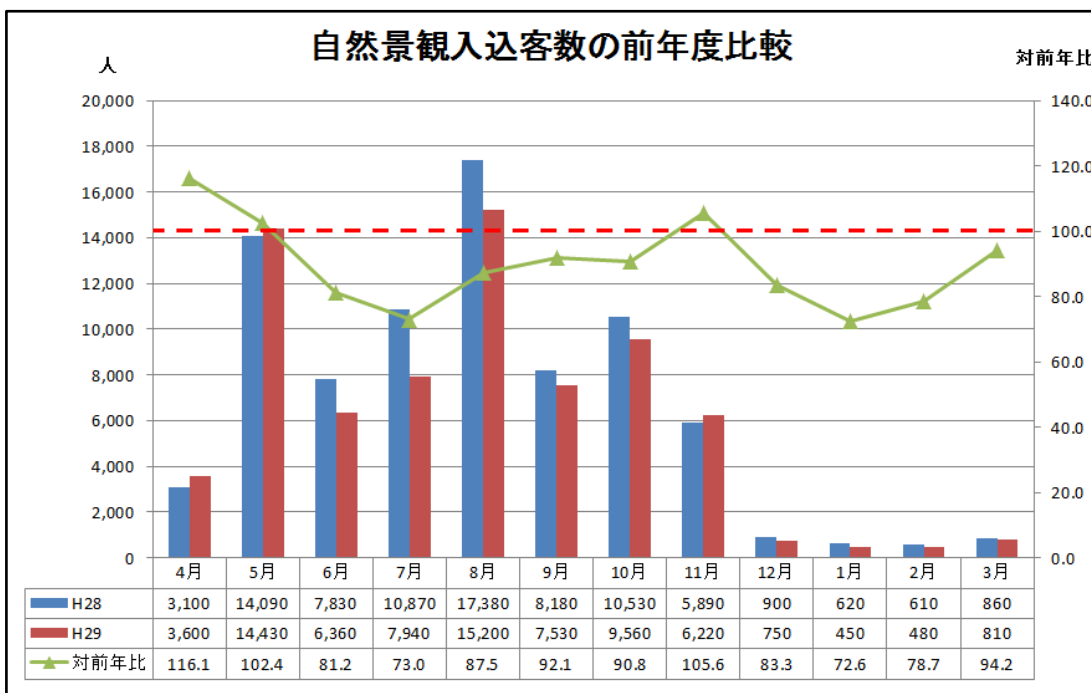


(2) 自然景観

◇ 平成 29 年度 73,330 人（平成 28 年度 80,860 人）前年比 90.7%

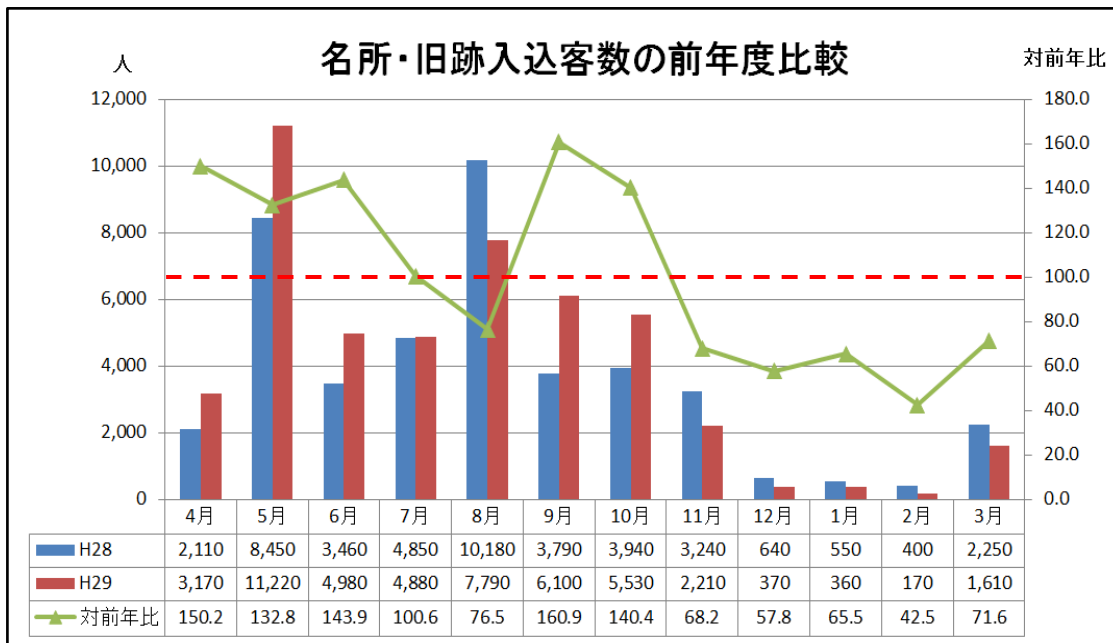
○ 例年、5 月と 8 月の入込客数が多い。

○ 夏季の天候不順が影響し、7 月・8 月ともに前年を大きく下回った。



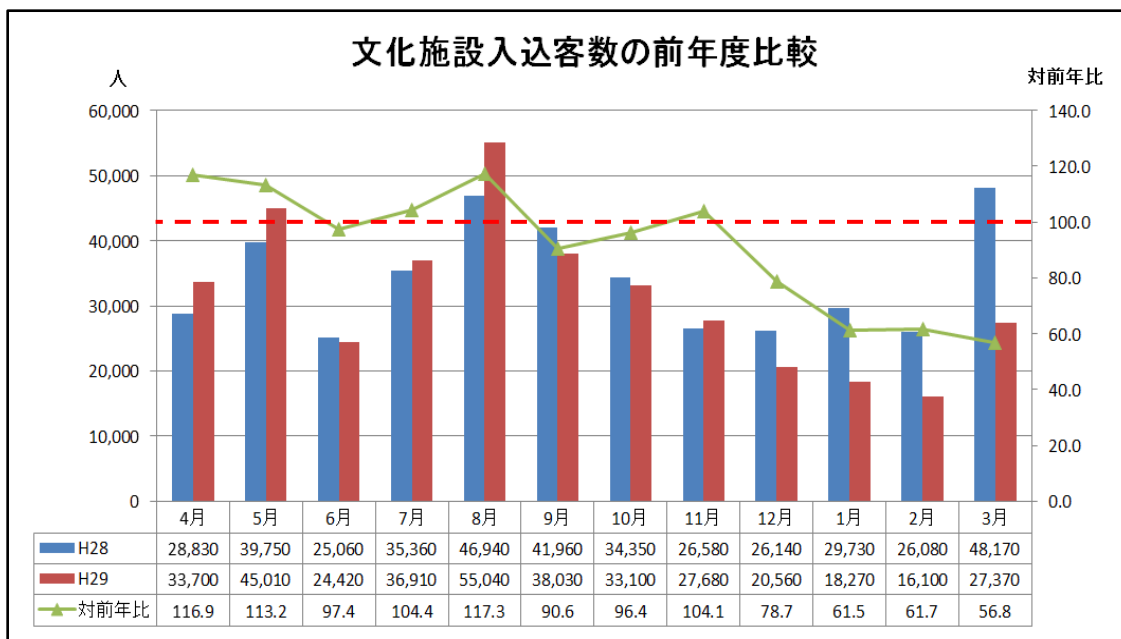
(3) 名所・旧跡

- ◇ 平成29年度 48,390人（平成28年度 43,860人）前年比 110.3%
- 5月は、翡翠園の「ヒスイの日」に合わせた無料開館やレンガトンネルの新設（H28.7オープン）により増加。
- 9月・10月は、フォッサマグナパークの入込数が増加した。



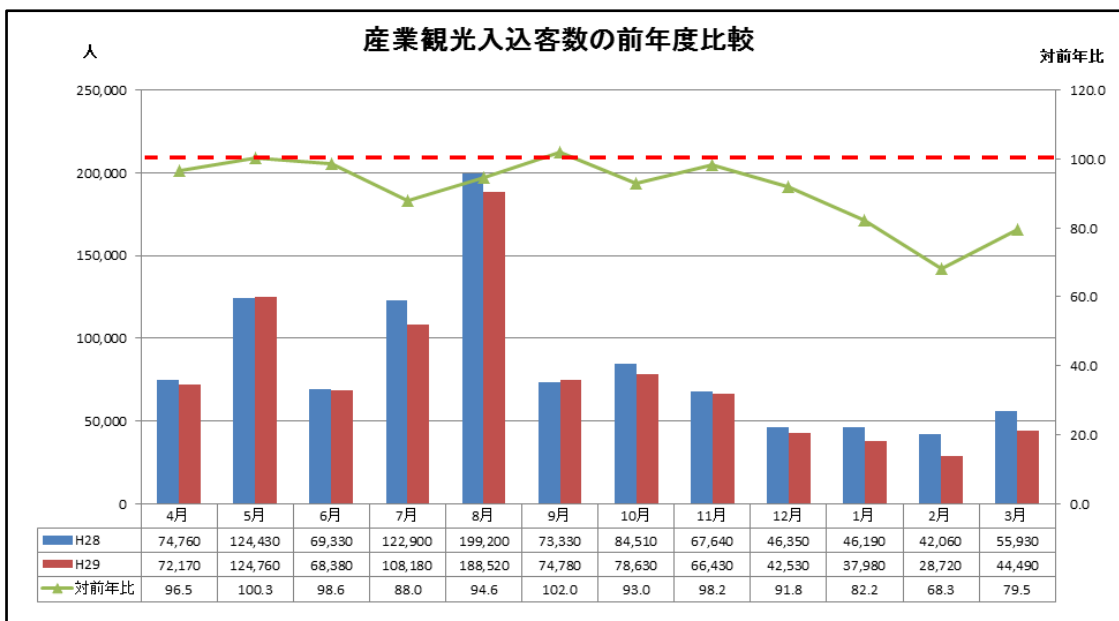
(4) 文化施設

- ◇ 平成29年度 376,190人（平成28年度 408,950人）前年比 92.0%
- 4月から8月まで、「ヒスイの日」無料開館や夏季の天候不順による屋内施設への移動により入込数が増加している。
- 12月から3月は、前年の糸魚川駅北大火関連の入込が落ち着き入込数が減少した。



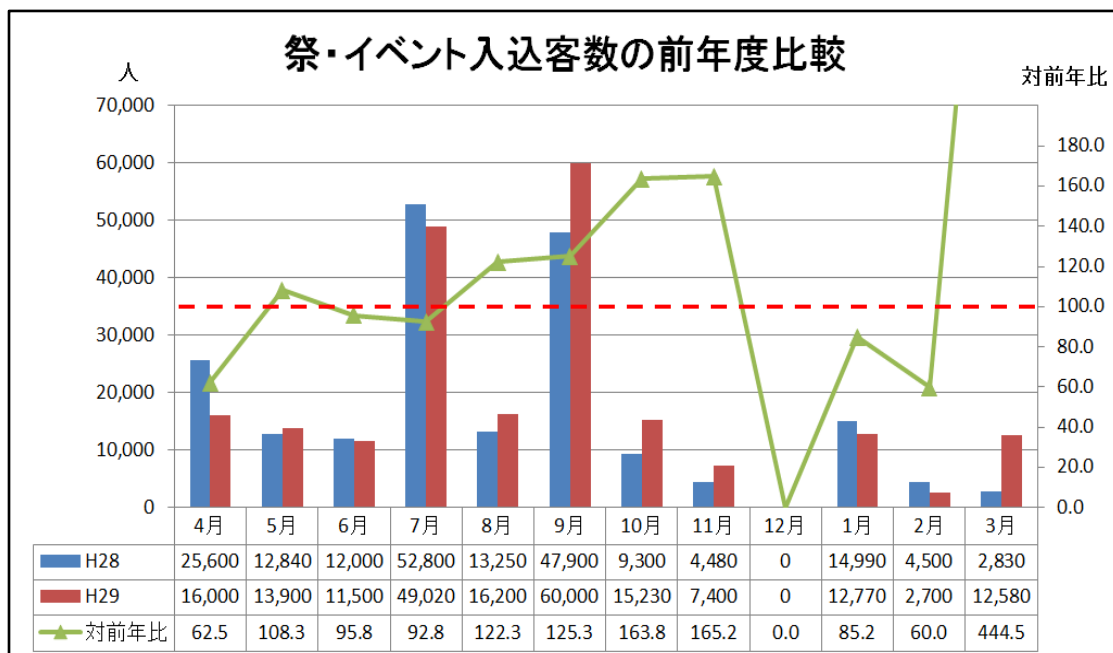
(5) 産業観光

- ◇ 平成 29 年度 935,570 人（平成 28 年度 1,006,630 人）前年比 92.9%
- 前年を下回る月が多いが、5 月・9 月は前年より上回った。
- 道の駅の入込客数が、年間を通じて 6～10%減少している。



(6) 祭・イベント

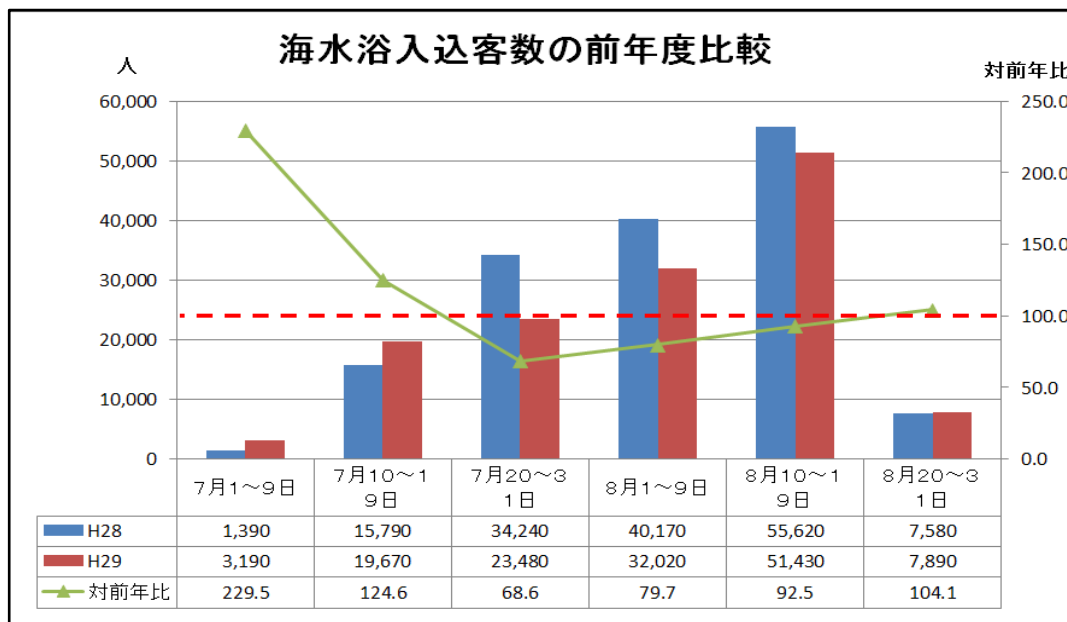
- ◇ 平成 29 年度 217,300 人（平成 28 年度 200,490 人）前年比 108.4%
- 平成 29 年度は、9 月・10 月・11 月・3 月に復興関連イベントや大糸線 60 周年記念事業の実施もあり、前年度より入込客数が増加している。



(7) 海水浴

◇ 平成 29 年度 137,680 人（平成 28 年度 154,790 人）前年比 88.9%

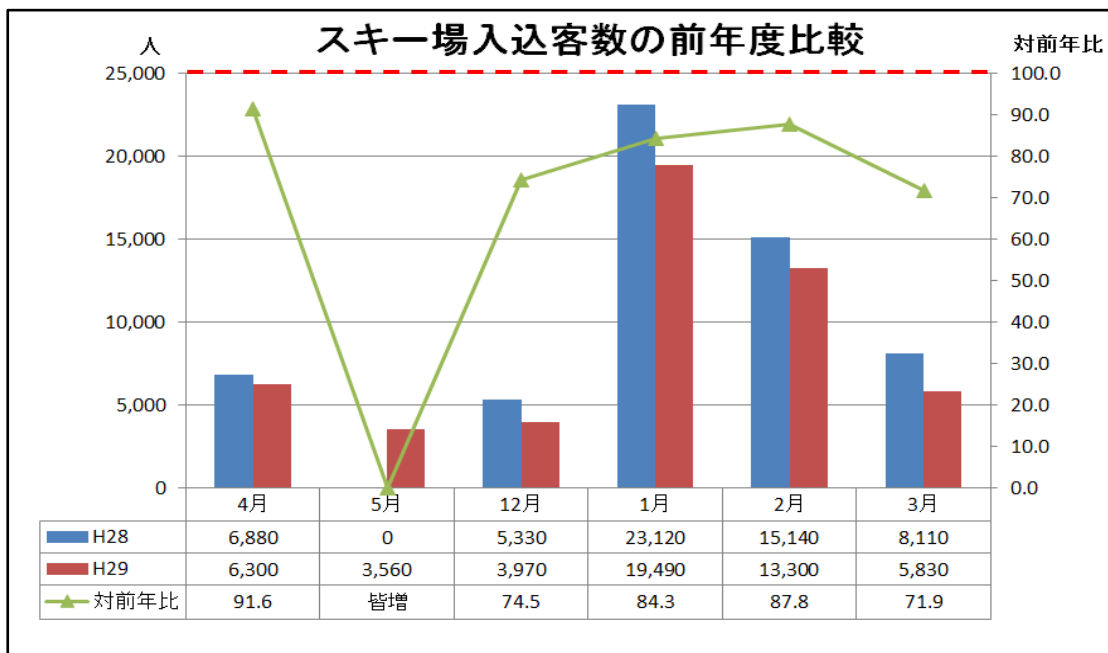
○ 平成 29 年度は、7 月下旬以降の天候不順（特に週末）が大きく影響し、前年比 88.9%となった。



(8) スキー場

◇ 平成 29 年度 52,450 人（平成 28 年度 58,580 人）前年比 89.5%

○ 平成 29 年度の入込数は、12 月からの降雪により積雪量が保たれる一方、全県的に一定量の積雪がありスキー客が市外に流れたため全体として前年より 10.5%減少している。

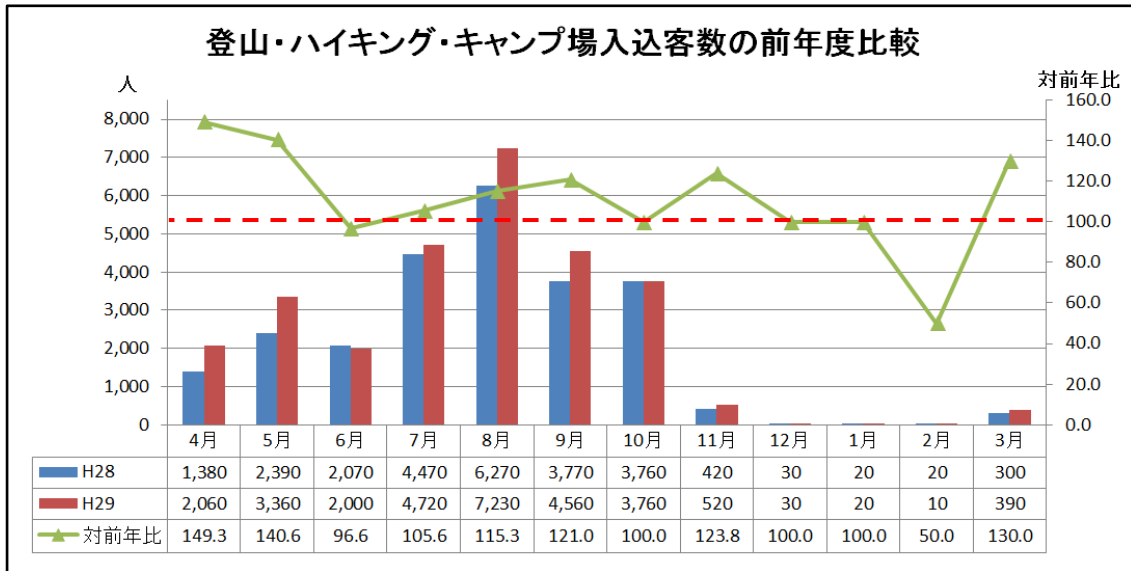


(9) 登山・ハイキング・キャンプ場

◇ 平成 29 年度 28,660 人（平成 28 年度 24,900 人）前年比 115.1%

○ 例年、夏季の入込数が多い。8 月は、須沢オートキャンプ場の利用増が影響している。

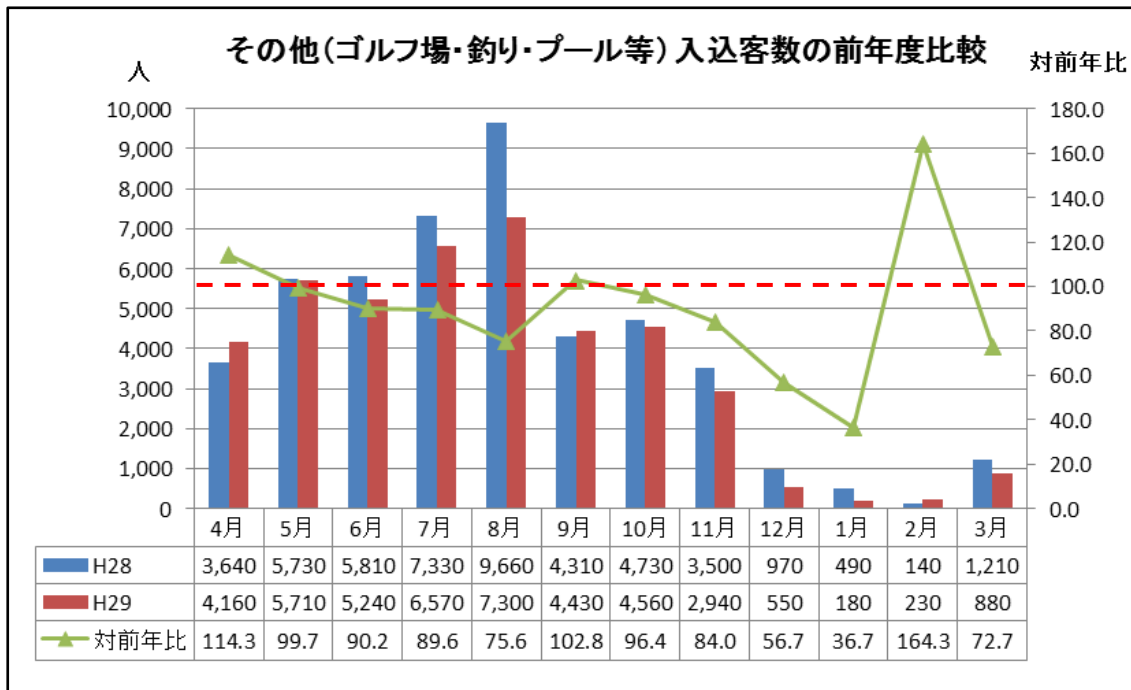
○ 3 月は、白鳥山・朝日岳・雪倉岳の登山者数が増加した。



(10) その他(ゴルフ場・釣り・プール等)

◇ 平成 29 年度 42,750 人（平成 28 年度 47,520 人）前年比 90.0%

○ 前年度と比較して、夏季の天候不順が影響し入込数が減少した。



Ⅱ 平成 29 年度の宿泊者の入込状況

1 平成 29 年度の宿泊者の入込状況(概況)

- 例年 20 万人弱の宿泊があり、8 月・10 月に宿泊者が多い。
- 平成 29 年度は、宿泊施設の減や夏季の天候不順の影響により、前年比 90.2% となった。

平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日

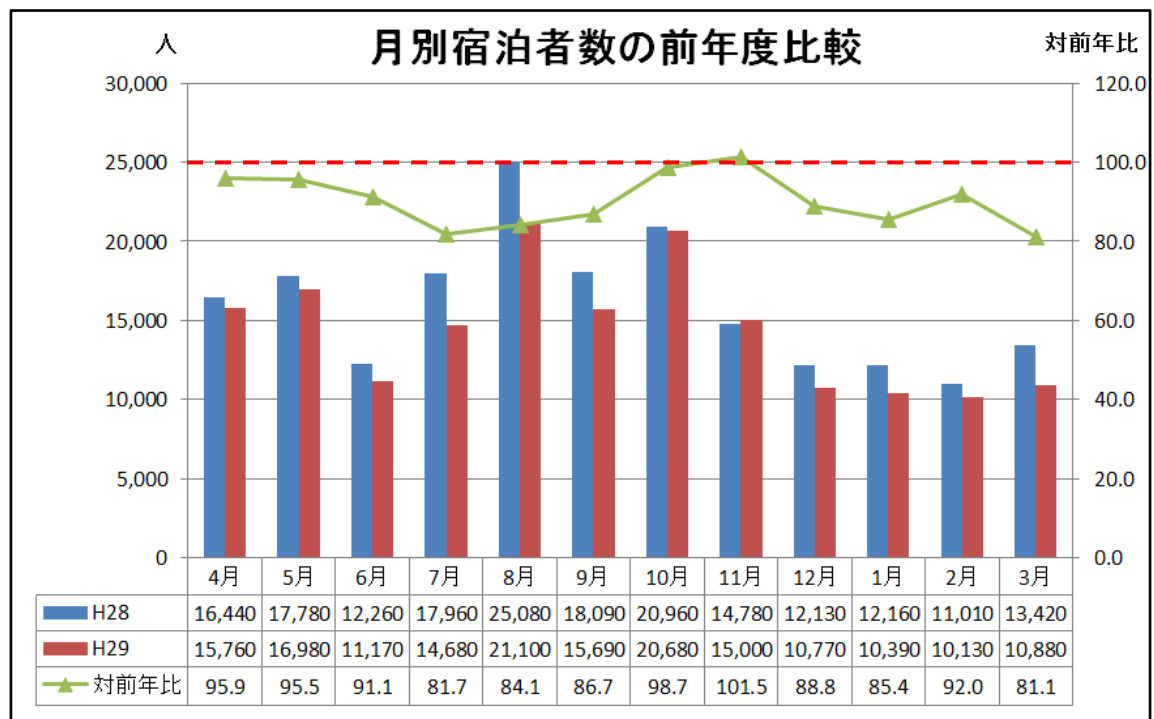
総数 173,230 人 (対前年比 90.2%、18,840 人減)

※ 平成 28 年度総数 192,070 人

2 平成 29 年度の月別・割合別宿泊者数

(1) 月別宿泊者数の前年度比較

- 年間を通して、前年比増は 11 月のみとなった。夏季の天候不順による 7・8 月の入込数の減少が大きく影響している。
- 昨年の宿泊施設の新規開業やリニューアルオープンからの入込増加が落ち着いた影響もある。

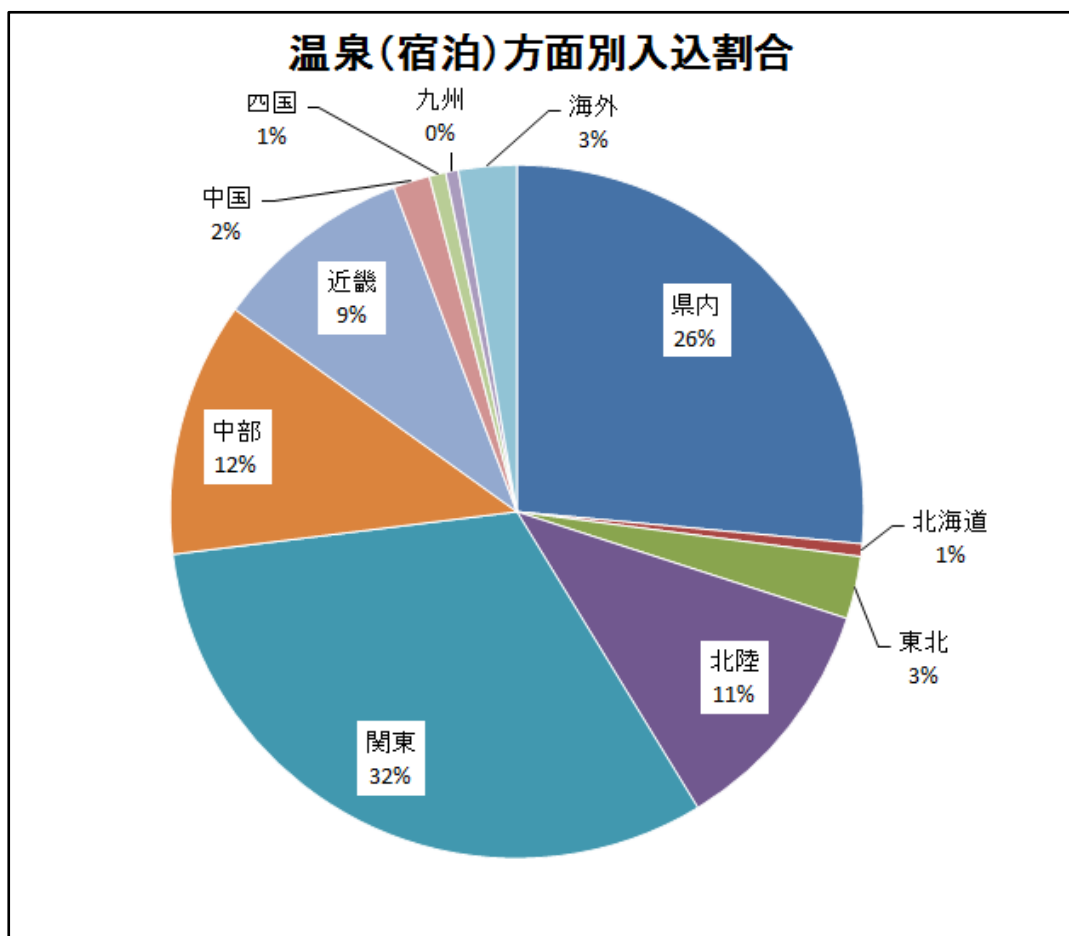


(2) 方面別温泉宿泊施設入込客数

- 温泉宿泊施設 10 か所の方面別入込客数で、県内 26%、県外 74%の割合となっている。
- 県外では、関東地方が全体の 3 割を占めており、次いで中部地方、北陸地方となっている。

(千人)

対象	H29	構成比
県内	17,970	26.5%
北海道	406	0.6%
東北	1,975	2.9%
北陸	7,659	11.3%
関東	21,568	31.8%
中部	8,057	11.9%
近畿	6,324	9.3%
中国	1,162	1.7%
四国	521	0.7%
九州	397	0.6%
海外	1,841	2.7%
合計	67,880	100.0%

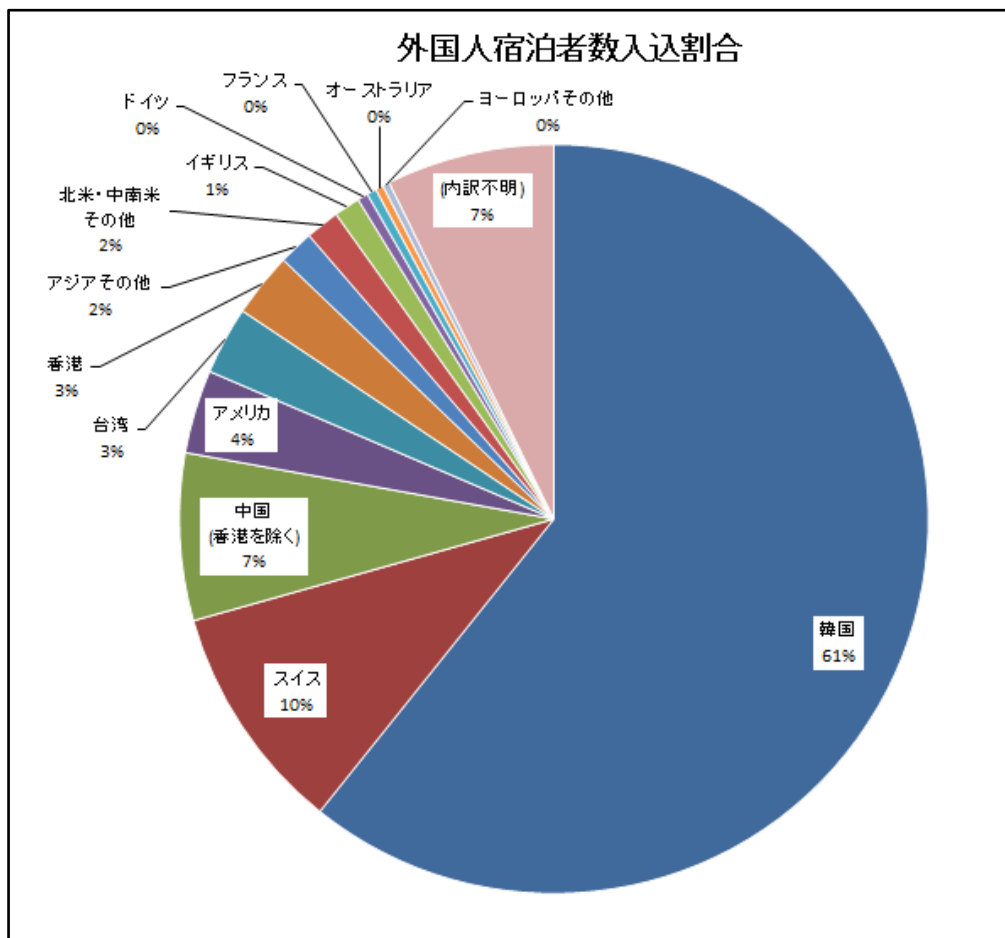


3 外国人宿泊者数

- 国をあげてのインバウンド推進、北陸新幹線開業等の効果で宿泊者数は増加傾向にある。

(人)

対象	H29	構成比
韓国	1,617	60.7%
スイス	263	9.9%
中国(香港を除く)	192	7.2%
アメリカ	96	3.6%
台湾	78	2.9%
香港	74	2.8%
アジアその他	40	1.5%
北米・中南米その他	39	1.5%
イギリス	30	1.1%
フランス	11	0.4%
ドイツ	12	0.5%
オーストラリア	9	0.3%
ヨーロッパその他	8	0.3%
(内訳不明)	193	7.3%
合計	2,662	100.0%

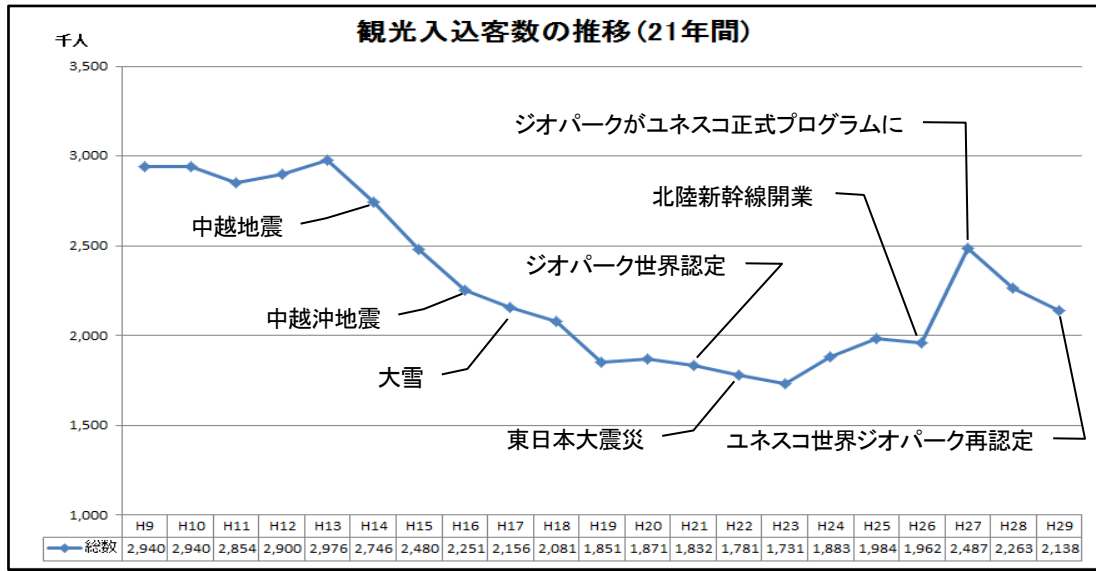


Ⅲ 過去の入込客統計調査との比較

過去の観光入込統計調査の結果を引用し、入込客数推移を比較した。

1 観光入込客数の推移

- 平成 13 年度の 297 万人から減少していたが平成 24 年度から回復基調。
- 平成 27 年度は北陸新幹線の開業の効果や、ジオステーションジオパル、フォッサマグナミュージアム等の文化施設の入込客数が増加したため大幅に伸びている。
- 北陸新幹線開業効果が落ち着いたため、H28・H29 の入込は減少している。

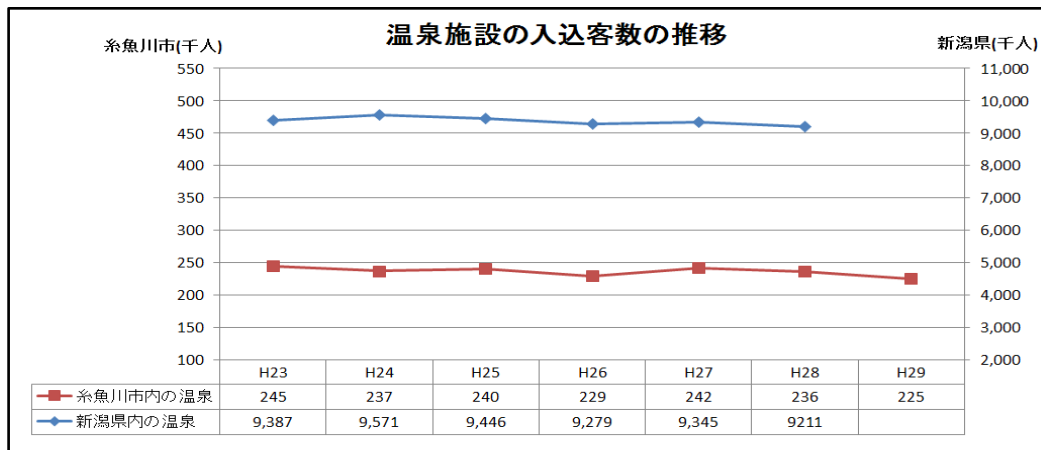


2 目的別観光入込客数の推移と県入込客数との比較

目的別に観光入込客数を集計した。なお、参考のために新潟県の目的別入込客数の推移を公表されている数字をもとに図表に加えた。新潟県の入込統計推移と同様の傾向を示すものについては、新潟県全体に影響となる要因があると考えられる。

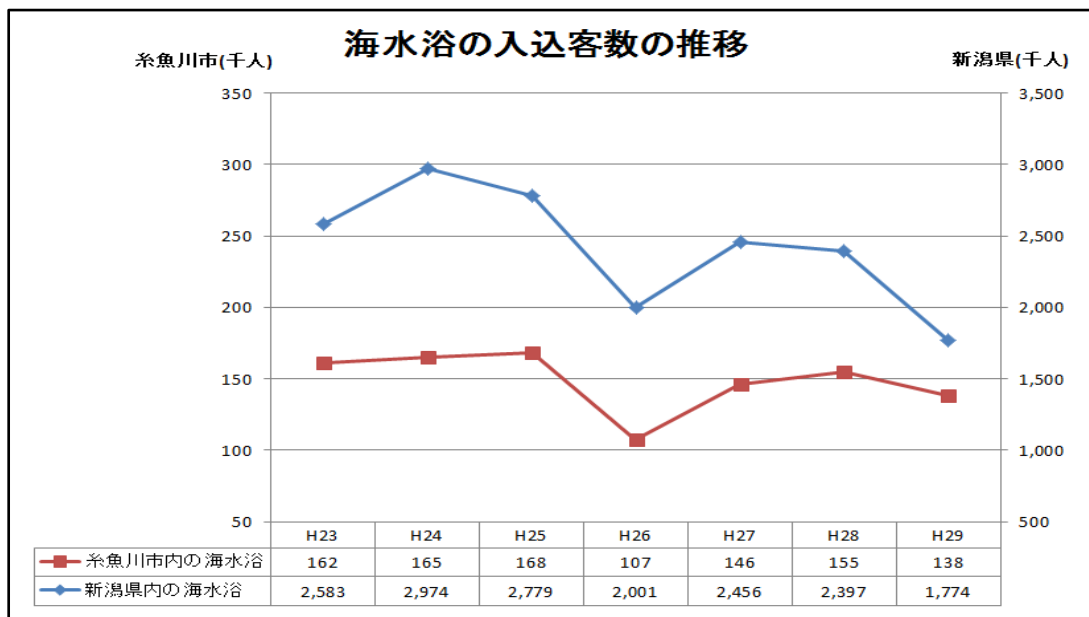
(1) 温泉施設

- 新潟県内の温泉施設の入込客数は、ほぼ減少傾向が続いている。
- 糸魚川市内の温泉施設の入込客数は、24 万人から 23 万人の間で増減を繰り返している。



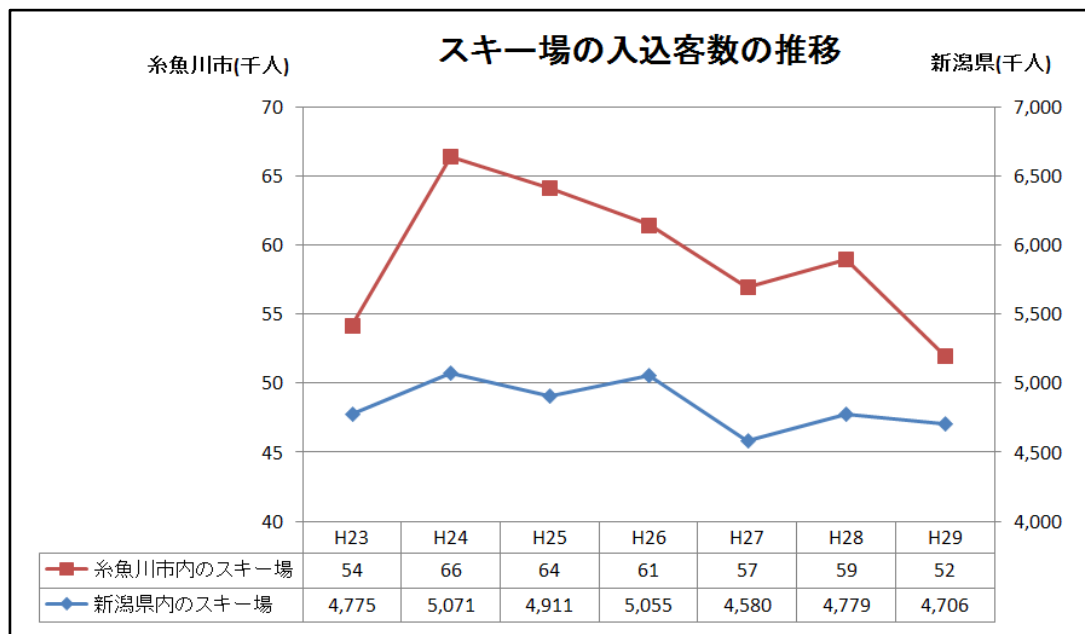
(2) 海水浴

- 新潟県内の海水浴の入込客数と、糸魚川市内の入込客数は同様の傾向を示す。
- 平成 29 年度は、夏季の天候不順が影響し、県内でも入込客数が 26%減少している。



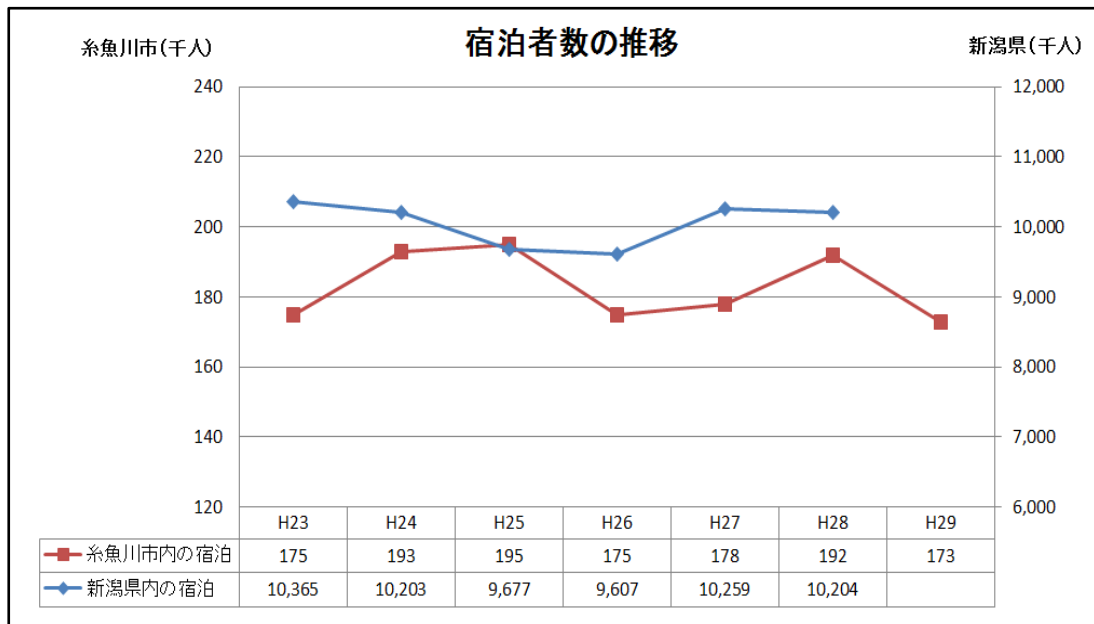
(3) スキー場

- 新潟県内のスキー場の入込客数と糸魚川市内の入込客数は同様の傾向を示す。
- 平成 29 年度は、県内の積雪量が一定量保たれたため、市内の入込が大きく減少した。



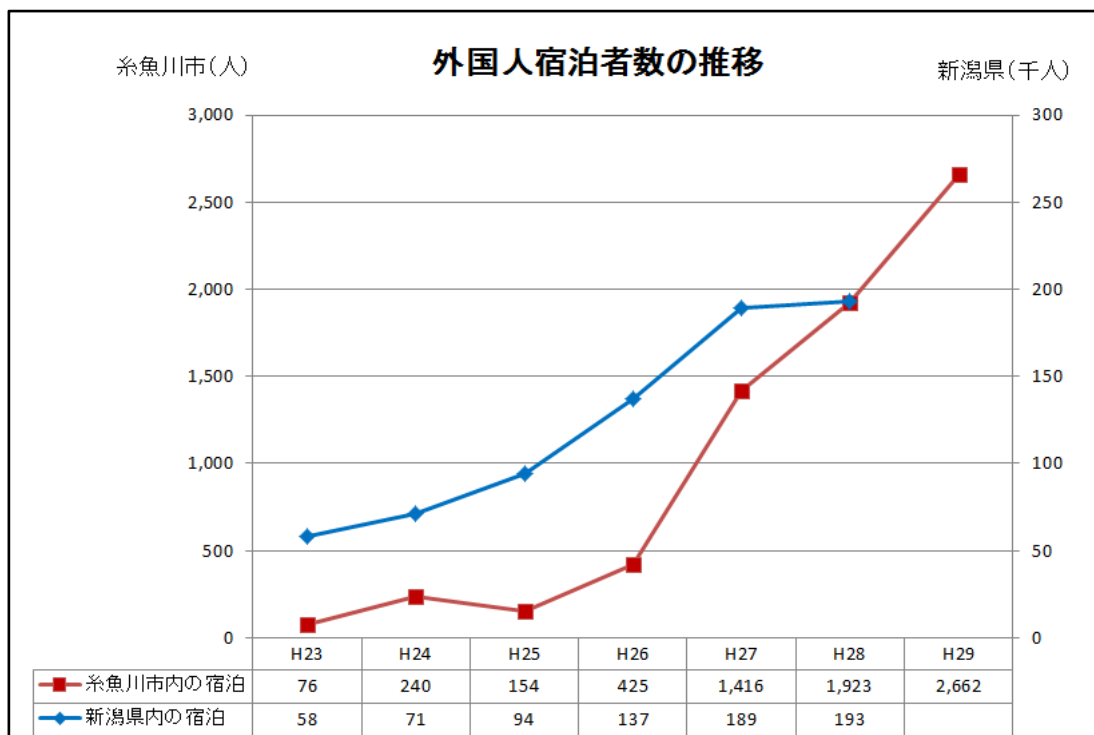
3 宿泊者数の推移と県入込客数との比較

- 新潟県内の宿泊者数は平成 23 年に 1,000 万人を突破し、概ねその水準を維持している。
- 糸魚川市内の宿泊者数は、北陸新幹線の開業に伴い平成 27 年度より増加傾向に転じていたが、平成 29 年度は開業以前のベースに戻った。



4 外国人宿泊者数の推移と県入込客数との比較

- 糸魚川市内の外国人宿泊者数は、新潟県と同様の傾向を示す。
- 平成 29 年度の糸魚川市内の外国人宿泊者数は、前年比 138.4%と大幅に増加した。



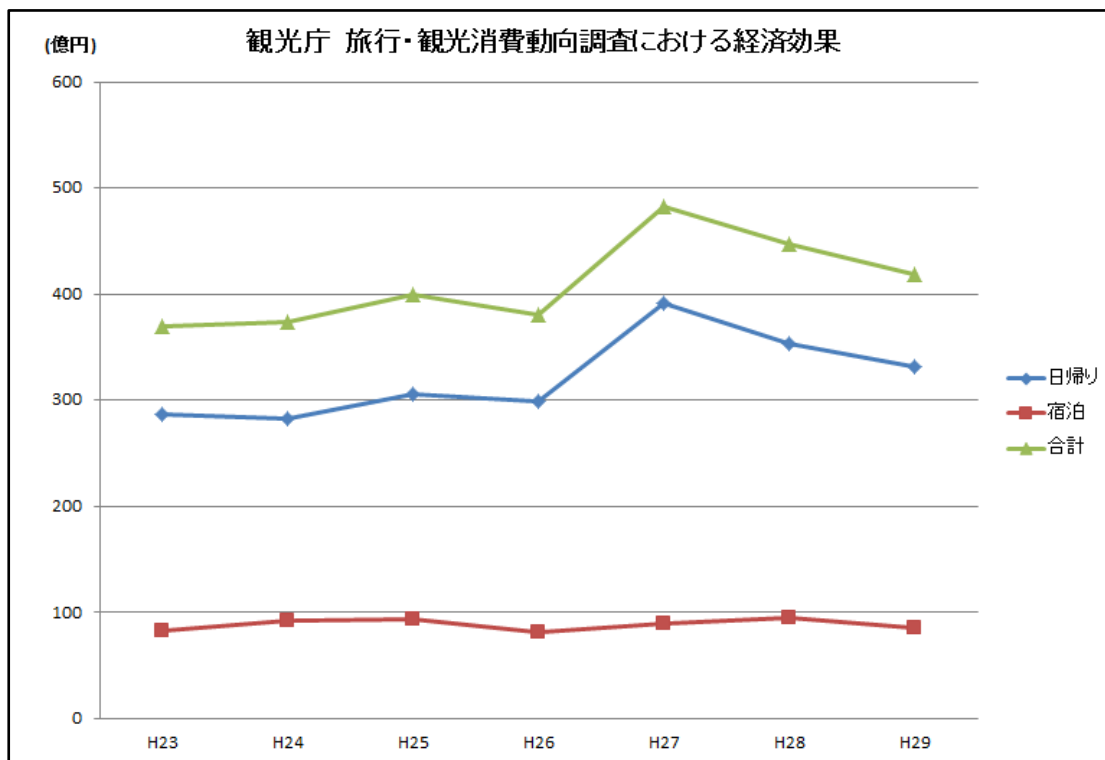
IV 経済効果

1 観光庁 旅行・観光消費動向調査における経済効果

観光庁が発表している、旅行・観光消費動向調査に基づき経済効果試算した。

- 北陸新幹線開業前後で、経済効果の合計額が100億円増加しており、その後ゆるやかに減少傾向にある。

年度	日帰り			宿泊			合計 (億円)
	単価 (円)	入込客数 (千人)	経済効果 (億円)	単価 (円)	入込客数 (千人)	経済効果 (億円)	
H23	16,567	1,731	287	47,149	175	83	369
H24	14,972	1,883	282	47,444	193	92	373
H25	15,383	1,984	305	48,094	195	94	399
H26	15,206	1,962	298	46,717	175	82	380
H27	15,758	2,487	392	50,520	178	90	482
H28	15,602	2,263	353	49,234	192	95	448
H29	15,526	2,138	332	49,732	173	86	418



2 糸魚川ジオパーク観光動態調査における経済効果

糸魚川ジオパークの推進に当たり事業展開の基礎資料とするため、市内観光施設4点において聞き取り調査を実施した一人あたりの平均予算額から、経済効果を試算した。

年度	区分	単価 (円)	日帰り		宿泊		合計 (億円)
			入込客数 (千人)	経済効果 (億円)	入込客数 (千人)	経済効果 (億円)	
H23	飲食	1,720	1,731	30	175	3	167
	お土産代	5,699		99		10	
	宿泊費	14,787	-	-		26	
H24	飲食	1,160	1,883	22	193	2	183
	お土産代	6,240		117		12	
	宿泊費	15,356	-	-		30	
H25	飲食	1,292	1,984	26	195	3	215
	お土産代	7,118		141		14	
	宿泊費	16,417	-	-		32	
H26	飲食	1,103	1,962	22	175	2	146
	お土産代	4,572		90		8	
	宿泊費	13,902	-	-		24	
H27	飲食	1,197	2,487	30	178	2	193
	お土産代	5,038		125		9	
	宿泊費	15,236	-	-		27	
H28	飲食	1,085	2,263	25	192	2	202
	お土産代	6,271		142		12	
	宿泊費	10,911	-	-		21	
H29	飲食	1,111	2,138	24	173	2	198
	お土産代	6,611		141		11	
	宿泊費	11,072	-	-		19	

※参考

M I C E測定モデルにおける経済効果

観光庁が平成23年3月に公表したM I C E (Meeting, Incentive, Convention, Event / Exhibition) 測定モデルを用いて経済効果試算した。

(億円)

指標	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
1.直接効果	151	165	172	165	208	200	186
2.間接1次波及効果	119	130	135	129	163	157	147
3.間接2次波及効果	69	75	78	75	94	90	85
経済波及効果(1+2+3)	339	370	385	369	465	447	418

昨年度までは、経済効果の指標としてM I C E測定モデルを掲載していたが、観光消費動向調査やジオパーク観光動態調査の指標の方がより相応しいため、今後はそちらを使用することとする。

V 平成 29 年度に講じた施策

総合計画に基づき、平成 29 年度において交流人口を拡大させるため講じた主な施策は、以下のとおりである。

1 誘客宣伝活動の促進

(1) 観光素材の磨き上げ

- 海と山が近接している地形を生かし、それぞれの魅力を磨き上げ誘客を図る事業を実施

① 海の魅力アップ推進事業

- ・「夏だ！海だ！糸魚川へ行こうキャンペーン」実施
- ・恋する灯台モニュメント整備
- ・日本海夕日ライブカメラ設置

② 山の魅力アップ推進事業

- ・雨飾山プロモーションビデオ制作
- ・白馬岳登山バス

実施期間…平成 29 年 8 月 26 日～

平成 29 年 10 月 15 日（土日祝など）

利用実績…519 人

- ・雨飾山登山タクシー

実施期間…平成 29 年 7 月 22 日～

平成 29 年 10 月 22 日（土日祝など 予約制）

利用実績…164 人



(2) 観光情報の発信

- インターネットを活用し、糸魚川の魅力を発信
- 糸魚川市観光協会と連携を強化し、観光情報のワンストップ窓口化を推進する

① ホームページ（糸魚川観光ガイド）による情報発信

- ・新着情報、イベントカレンダー等の更新
- ・観光施設、観光素材の情報発信

② SNS（facebook ページ 糸魚川世界ジオパーク）での情報発信

- ・フォロワー数 2,356 人

③ 観光案内所の開設（4 か所）

- ・案内所問合せ件数……25,583 件（対前年比 81%）

④ 観光パンフレット請求件数……221 件

(3) 効果的な宣伝活動の強化

- 様々なメディアを利用した広告出稿や市外観光キャンペーンの実施

項目	内容	回数
広告出稿	テレビ	5回
	新聞	4回
	雑誌	6回
	インターネット	4回
	その他	4回
観光キャンペーン	市外での観光PR	16回

(4) イベント等の実施と支援

- 糸魚川の認知度を向上させるため、市内イベント等に対する支援を実施
 - ・実行委員会など実施するイベントへの助成……19団体

(5) 観光関連産業の活性化と地域振興

- 閑散期対策として、平成29年2月～4月にかけて、宿泊に使えるプレミアム旅行券（購入価格以上の額面券）を発行。市内への消費喚起・地域振興を図る事業として実施（平成28年度からの繰越事業）
- 民間団体と連携し、地元食材を通じた情報発信を実施

① ふるさと旅行券の販売

- ・概要…5,000円分の旅行券(宿泊券)を2,500円で購入可能(2,500円のプレミアム)
- ・販売期間…平成29年1月20日(金)～平成29年4月28日(金)
- ・利用期間…平成29年2月1日(水)～平成29年4月28日(金) ※宿泊日基準
- ・利用宿泊施設…市内17施設
- ・発売箇所…大手コンビニエンスストア
- ・販売枚数…4,000枚(1月20日即日完売)
- ・利用枚数…1泊1人当たり10,000円未満の場合1枚
1泊1人当たり10,000円以上の場合2枚まで
連泊は1人当たり最大3連泊まで



【追加販売決定 (2/2)】

- ・販売期間…平成29年2月8日(水)～平成29年4月28日(金)
- ・販売枚数…2,000枚(2月8日即日完売)

② うまいもん会への助成

- ・糸魚川市の食等を通じて糸魚川市の情報発信と特産品開発を図る。
- ・「ブラック焼きそば」、「ジオ丼」、「メギス料理」

③五醸の会への助成

- ・糸魚川市の地酒を通じて、糸魚川市の情報発信を図る。
- ・地酒で乾杯宣言
- ・糸魚川ヒスイと酒まつり（5月4日 ヒスイの日 来場者 1,500人）

2 受入態勢の充実

(1) 観光地域づくりに向けた連携強化

- 糸魚川版DMOの取組を進め、
受入態勢について機運醸成を図る。

①糸魚川版DMO連携会議開催

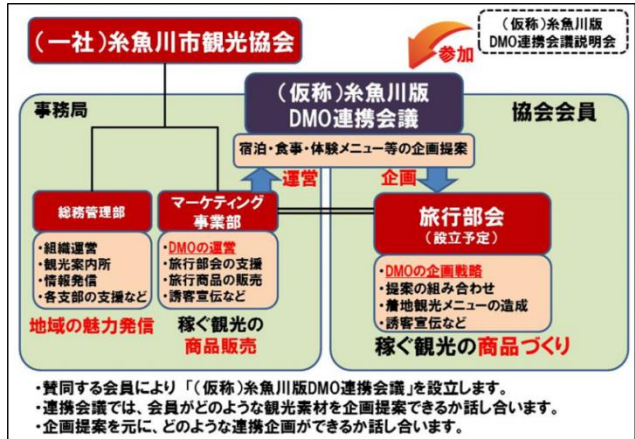
平成29年10月4日開催
26団体参加

②旅行部会準備会

平成29年12月12日開催

③DMO先進地視察

平成30年2月20・21日実施



(2) 体験型観光の推進

- 地域資源を活かした旅行商品の開発を行い、旅行エージェントなどとの連携を進め誘客を図った。（体験型観光、一般観光、モニターツアー等の調整）
- ・20 ツアー 4,354人泊
- ・モニターツアー 139人

(3) 広域観光連携の推進

- 広域連携のメリットを活かし、インバウンド観光の取組を行った。
- 大糸線の魅力を伝えることにより、北アルプス日本海エリアへの誘客を図った。

①北アルプス日本海広域観光連携会議

(ア)連携市町村

長野県大町市、長野県白馬村、長野県小谷村、富山県朝日町、新潟県上越市
新潟県糸魚川市 計6市町村

(イ)主な事業内容

(i)ビジットジャパン地方連携事業

- ・ターゲット…台湾、サイクルニスト
- ・事業内容 …セールスコール、モニターツアー（旅行会社7社、
ブロガー11人）

(ii)関西旅行エージェントモニターツアー

- ・参加者…商品造成担当者6社

(iii)大糸線キハストラッププレゼントキャンペーン

- ・応募総数…1,261名

(4) 観光施設の整備運営

- 観光施設の適切な整備と管理運営を行い、施設の魅力や観光客の満足度を高める。

施設名	入込客数（人）
ジオステーションジオパル	248,750
シャルマン火打スキー場	23,440
糸魚川シーサイドバレースキー場	29,010
翡翠園・玉翠園・谷村美術館	25,770
高浪の池（白馬山麓国民休養地）	14,610

(5) 新幹線に対応した観光交通の確保

- 北陸新幹線など鉄道を利用し糸魚川市に來訪される方の利便性を向上させることにより、誘客を図る。

① 定期観光バス

- ・ 実施期間…年4回 計54日間
- ・ 利用実績…258人

② 親不知ピアパーク・マリンドリーム能生
シャトルバス

- ・ 実施期間…
平成29年7月15日～
平成29年8月20日の間の28日間
平成30年1月20日～
平成30年2月25日 13日間（土日）
- ・ 利用実績…364人



(6) インバウンド観光の推進

- 白馬に來訪している外国人をターゲットにお食事バスを運行することで、糸魚川を知ってもらうきっかけづくりを行った。
- 民間団体と連携を行い商談会などへ参加

① 糸魚川シーフードシャトルバス

- ・ 実施期間…平成30年1月10日
～平成30年2月16日 12日間
- ・ 利用実績…140人

② インバウンド推進委員会との連携

- ・ Travel Mart2017（政府観光局主催）の参加
- ・ ワークショップ「英語でおもてなし」の開催
- ・ エージェント等の受入対応





ジオまる



ぬーな

糸魚川ユネスコ世界ジオパーク マスコットキャラクター

糸魚川市の観光の状況について（平成 29 年度版）
（平成 30 年 6 月発行）

編集・発行 糸魚川市産業部商工観光課
〒941-8501 新潟県糸魚川市一の宮 1 丁目 2 番 5 号
TEL 025-552-1511 FAX 025-552-7372